

# 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名： 中島 威夫

<b>事業名</b> 一般国道403号 三條北バイパス 自：新潟県南蒲原郡田上町羽生田 起終点 至：新潟県三條市塚野目		<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 新潟県
<b>事業概要</b> 一般国道403号は、新潟県新潟市から長野県松本市へ通じる幹線道路である。当該バイパスを整備することにより交通渋滞を解消し、安全で円滑な交通を確保することにより広域ネットワークの形成、都市機能向上及び日常生活圏の連携強化を図る。		<b>延長</b> 8.3km	
昭和59年度事業化	昭和60年度都市計画決定	昭和60年度用地着手	昭和63年度工事着手
全体事業費	約190億円	事業進捗率	58%
計画交通量	14,000台/日		
費用便益比	B / C (事業全体) 2.3 (残事業) 4.3	<b>総費用</b> ：(残事業)/(事業全体) 61/118 億円 (事業費：56/112 億円) 維持管理費：5/ 5 億円	<b>総便益</b> ：(残事業)/(事業全体) 265/265 億円 (走行時間短縮便益：252/252 億円) (走行費用減少便益：10/ 10 億円) (交通事故減少便益：3/ 3 億円)
<b>基準年</b> 平成15年			
<b>事業の効果等</b> ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる） ・災害への備え（対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけあり）			
他6項目に該当			
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 三條市は、加茂市、田上町と共に「国道403号整備促進期成同盟会」を組織し、国・県に積極的に要望活動を行っている。			
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> H14に着手した圃場整備（下条川左岸地区）と一体的整備が生じた。			
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 現在まで用地買収・工事を推進し2.8kmを暫定2車供用している。			
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 当該事業区域は全区域が軟弱地盤地帯であり、地盤改良工・圧密沈下に相当の時間を要し、また遺跡の包蔵密度が極めて高く埋蔵文化財発掘調査に多大な時間と費用を要したが、その調査も完了間近であることから今後の事業促進を図る。			
<b>施設の構造や工法の変更等</b> プレキャスト製品や再生材の活用、建設発生土の有効利用等コスト縮減に努めている。			
<b>対応方針</b> 事業継続			
<b>対策方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
<b>事業概要図</b>			
<p>                 一般国道403号 三條北バイパスL=8.3km                  供用中 (厚黒線)                  事業中 (点線)                  再評価箇所 (斜線)                  うち供用中 (斜線)             </p>			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

再評価の時点までに事業区間の一部に部分供用があり、事業全体の費用便益分析に変えて、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を実施。